

(様式2)

平成 27 年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

| | | | |
|---------|---------------------|------------|--|
| 事業所番号 | 1570105914 | | |
| 法人名 | 株式会社 あけぼの | | |
| 事業所名 | グループホームあけぼの | | |
| 所在地 | 新潟県新潟市江南区曙町2丁目5番19号 | | |
| 自己評価作成日 | 平成27年11月10日 | 評価結果市町村受理日 | |

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

| | |
|----------|---|
| 基本情報リンク先 | http://www.kaigokensaku.jp/15/ |
|----------|---|

【評価機関概要(評価機関記入)】

| | | | |
|-------|--------------------------------|--|--|
| 評価機関名 | 公益社団法人新潟県社会福祉士会 | | |
| 所在地 | 新潟県新潟市中央区上所2丁目2番2号 新潟ユニゾンプラザ3階 | | |
| 訪問調査日 | 平成27年12月16日 | | |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

当ホームは、“家庭的な雰囲気の中で、その人らしく生活を送り、幸せを感じていただけますよう、一人ひとりと向き合い寄り添うことで成果ある支援をさせていただきます”との運営理念を掲げ、運営理念の実現化を目指すために、毎回全スタッフの参加は難しいですが、スタッフ会議を毎週開催できる環境を整備し、スタッフの意見や思い、価値観等を共有することで、ケアの統一性を図る取り組みに努めております。スタッフ個々の考えを共有することで“あのスタッフはこう考えているんだ”等の認識を共有し、スタッフ同士のストレス軽減の取り組みを行っております。開設させていただきましてから10年目を迎え、開設当初からの入居者様もいらっしゃいますが、入居間もない方もおり、これまでの生活歴や人格によって個々の心身状態が異なることは当然のことと思いますが、症状の進行が確認されましても、個別のケアを尊重し出来ることの大切さやスタッフによる介入支援により、自らのペースで実施可能なことの重要性を大切にしております。近隣の住宅街とは、国道の隔たがりがありますが、ホーム周辺は地域住民の方の散歩コースであり、入居者様が散歩に出かける際に、日常会話等を通じて交流を図れる環境があります。地域との交流では、ホームが主宰する行事への招待を、副自治会長による協力のもと、回覧板に入れていただき、行事開催時には近隣にお住まいの方の来訪もあり、地域交流を図っております。また、同一敷地内に小規模多機能型居宅介護事業所が併設されており、合同の行事開催による交流や事業所単独行事開催時には、双方による交流を図っております。ホーム内の活動状況等は、併設事業所の小規模多機能型居宅介護事業所と合同で開催される、運営推進会議の場で報告を行い、ホーム入居者様とご家族様、及び併設事業所のご利用者様とご家族様、地域住民の代表者様(副自治会長)や、同区内のグループホーム長、地域包括支援センター職員様の参加があり、意見・情報交換等を行っております。“可能な限り住み慣れた環境の中で生活を送っていただきたい”との経営理念の基、医療機関と連携し、毎月往診診療の環境を整えと共に、往診して下さる医療機関の訪問看護と連携し、体調不良が確認された場合等は直ぐに往診医による、助言等が受けられる体制を整え、迅速な対応がなされるように取り組んでおります。自らが提供するサービスの振り返りを行い、入居者様本人とご家族様、周りを取り巻く関係者の皆様にとって、安心や充実感を感じていただき幸せになっていただけるよう、にスタッフ一同取り組んでおります。

事業所は、新潟市郊外に小規模多機能型居宅介護事業所、認知症対応型通所介護事業所、高齢者専用賃貸住宅と同じ敷地内に建てられている。柔らかな杉材を利用したログハウス風の建物で、天井が高く窓も大きく、利用者はゆったりと心地よい環境の中で暮らすことができている。住宅地からは離れており、交通の不便さはあるが、運営推進会議を通じて地域との交流が広がって来ており、地域の方から事業所の行事に参加してもらい機会も増え、時々地域住民がふらっと訪ねてきてくれたり、野菜の差し入れをしてくれるなど日常的な付き合いができてきている。また、認知症対応の専門職として地域に貢献できるように「相談窓口」の看板を掲げるなど、事業所の地域での存在も浸透してきている。

職員は利用者一人ひとりがその人らしい暮らしが送れることを支援するため、常に利用者に向き合い、寄り添ったケアの実践にチームで取り組んでいる。一つ一つのケアを常に振り返ったり意見の申出をいつでも行うことができる環境であり、話し合う機会の多いことが成果につながってきている。

管理者は周辺の地域密着型サービス事業者全体の質の向上を目指して、連絡会への出席や他事業所の運営推進会議のメンバーに加わるなど、多くの意見や地域の実情が把握できるように努めている。

開設10年となり、職員は実践を積み重ねて力をつけており、終末期についても事業所で取り組むべく体制を整えている。訪問診療を担う開業医の協力も大きく、医療面で利用者・家族の安心につながっている。今後も、利用者が自宅と変わりなく安心して穏やかに暮らせる居場所となるように、一つ一つの課題に取り組んでいく姿勢がうかがえる事業所である。